

# 3. 教 育

---

Education



## 【1】平成29年度の取組

### 1. 新しい教養教育カリキュラムの実施

地域志向の観点による教育改革を実施し、次の5つの目的を柱とする新しい教養教育を平成28年4月より実施した。

- 主体的・能動的学修への転換
- 文理融合教育による多角的な視点や思考法の獲得
- 国際共通語としての英語能力の獲得
- 地域志向性(地域が持つ強みや課題の理解、課題解決への意欲等)の涵養
- 国際性(異文化理解、多文化共生等)の涵養

具体的には、「スタディスキル導入科目」「ローカル科目」「グローバル科目」「学部越境型地域志向科目」「キャリア教育」等の10から成る科目群を設定し、グローバルな視点を持って地域課題の解決に取り組む「地域のリーダー」の輩出を目指している。

#### 地域志向カリキュラムのスケジュール

学年	1年 (前期)	1年 (後期)	2年	3年	4年
地域に関する科目	選択必修 ローカル科目群	必修 地域学ゼミナール	選択必修 学部越境型地域志向科目群		
キャリア教育		必修 キャリア形成の基礎	選択必修 キャリア形成の発展科目群		
地域特定プロジェクト			地域特定プロジェクト志向専門人財育成のための教育プログラム		

### 2. 基礎ゼミナール・地域学ゼミナール

1年次に履修する全学必修の「スタディスキル導入科目」として、前期に「基礎ゼミナール」、後期に「地域学ゼミナール」を開講した。学生の主体的で能動的な学修の技能や態度、習慣を涵養し、自らの力で社会や学問における答えのない問題に取り組んでいく探究力の基礎を形成することを目的としている。

「基礎ゼミナール」は、10名から20名程度の少人数クラスで運営され、高校までとは異なる大学における積極的な学びの姿勢を学修する。具体的には、主体的・能動的学修の体験、グループワークの体験(ブレインストーミング、KJ法)、資料(情報)の検索・収集・整理及び発表、初歩的な研究倫理の涵養などで構成されている。

「地域学ゼミナール」は、80名程度の学部横断クラスで運営され、地域をテーマとした課題解決型学修の形式となっている。具体的には、6名程度ずつの異なる学部の学生でチーム編成を行い、チームごとに弘前や津軽地方・青森県の地域課題をテーマとした問題解決学習を行う。この体験を通じ、多元的な視点や考え方があることへの認識を深め、個人・チームで主体的かつ能動的に活動する基礎的な力を培う。



### 3. ローカル科目・学部越境型地域志向科目

1年次から履修する選択必修の「ローカル科目」は、青森の歴史、特色、課題等について学修する。前期に、「青森の行政」「青森の経済・産業」「青森の文化」「青森の歴史」「青森の自然」等の科目を開講し、学生が青森に根付きその発展を牽引するリーダーとなるよう、青森への興味関心を高めることを目指している。

#### ■ 主なローカル科目

青森の行政　－地域司法－	青森の経済・産業　－地域活性化について－
青森の経済・産業　－地域課題解決論－	青森の経済・産業　－商業－
青森の文化　－青森の手工芸－	青森の文化　－青森の文化財－
青森の歴史　－写真で見る青森の近代－	青森の自然　－青い森の食材機能学－
青森の自然　－白神学Ⅰ－	青森の自然　－食育概論①－
青森の芸術　－青森と日本現代文学・文化－	青森の芸術　－青森の色感嗜好－

他11科目　計23科目のローカル科目を開講

「学部越境型地域志向科目」は、「基礎ゼミナール」及び「地域学ゼミナール」の単位を修得した学生が2年次前期から履修する。異業種のチームワークが可能となるよう30名程度の学部横断のクラス編成で、青森に関する内容について専門知識を活用して学ぶ学生参加型学習の形式となっている。「青森の多様性と活性化」「青森の食と産業化」「市民参加と地域づくり」「青森エクスカージョン」「地域プロジェクト演習」の科目で構成されている。

### ■ 主な学部越境型地域志向科目

科目群	科目名
青森の多様性と活性化	あおもりの暮らし
	地域活性化論①
青森の食と産業化	食生活論
市民参加と地域づくり	若者の政治参加
	地域ボランティア入門
青森エクスカージョン	津軽平野の自然と人間生活
	青森の農の可能性
	青森県のイトコ発信！
地域プロジェクト演習	弘前市の課題と発展を考える
	地域課題解決の実践（基礎）
	地域メディア活用の実践
	地域製品の創作

### 4. キャリア教育科目

平成28年度後期に開講した初年次キャリア教育「キャリア形成の基礎(全学部必修)」の高次元化の授業として「キャリア形成の発展(3学部選択必修)」を26授業開講し、876名が受講した。また、平成30年度前期に開講する、3年次学生対象の高年次キャリア教育科目(3学部必修)の開講に向け、教育推進機構キャリア教育WGで地域志向のキャリア教育を主眼に置いた授業内容を検討した。

### ■ 「キャリア形成の発展」科目のテーマ

地域で働くということ	地域のキャリアを考える
地域という視点から	自分×仕事×地域
女性のキャリア形成	女性×キャリア
女性が活躍するために	ワーク・ライフ・バランス
がんばる青森の企業	アントレプレナーチャレンジ
地域課題というニッチ	

## 5. 地域特定プロジェクト志向専門人財育成プログラム

地域特定プロジェクト志向専門人財を育成するための教育プログラム「6次産業化マイスター育成プログラム」は、「学生の実践力を養うインターンシップ」、「インターンシップを効果的なものとするために必要となる基礎的な知識技能を学ぶ講義」の2つの柱で構成している。

平成29年度はプログラムを構成する講義を開講するとともに、平成28年度に引き続きインターンシップを実施することで、学生が学問知を身に付け、実践知を体得するプログラムとすることができた。

インターンシップ参加学生により、「目指せ！次世代のりんご加工品の開発!!」として平成30年3月に成果発表会を行った。





## 6. 地域志向科目の実施

地域志向科目は、学生の地域志向性を涵養することをねらいとして、大学院も含め、平成28年度より110科目の増となる432科目の地域志向科目を開講した。(学部：352科目、大学院：80科目)開講数を増やすとともに、地域の課題に興味を持ちにくい他県出身者や理工系の学生など多様な学生が興味関心を持つことができるよう、科目内容の充実を図った。このことにより、学生の地域志向教育を受ける機会を増やすとともに、地域志向の意識醸成に寄与した。

### ■ 主な地域志向科目(学部専門教育科目)

カリキュラム所轄学部等区分	科目名
人文社会科学部 人文学部	地域アクションリサーチ実習Ⅰ
	経営学コース特設講義 ー観光基礎概論ー
	多文化共生コース特設講義B① ー地域で学ぶ地域の歴史と文化ー
	企業戦略コース特設講義B ー青森県の観光振興と地域活性化 五能線の活用と深浦町の観光を考えるー
	ビジネス・シミュレーション実習Ⅰ
	事業計画演習Ⅰ
	社会調査実習Ⅰ
教育学部	地域行政関係法論
	地域コラボレーション演習Ⅰ
医学部医学科	地域医療入門
医学部保健学科	公衆衛生看護学演習Ⅰ
	地域医療検査学
	在宅看護学実習
理工学部	ベンチャービジネス論
農学生命科学部	農場実習
	食の機能・安全科学
	地域ブランド農産物論

## 7. 教育関連FD

### (1) 平成29年度弘前大学全学FD

平成30年3月15日(木)、弘前大学総合教育棟206講義室において、「平成29年度弘前大学全学FD」を開催した。

本FDは教育実践の検証を基にした新たなFDプログラムによる教育改善を、学部FDのロールモデルとして提言し、教育改革の先導に資することを目的とし、「教養教育課程のカリキュラム・マネジメント－教養教育課程の継続的な点検と改善の確立に向けて－」をテーマとしている。

はじめに、伊藤成治教育担当理事から挨拶があり、続いて西村君平教育推進機構教育戦略室助教から平成28年度から行っている「弘大生の学習実態に関する調査」より得られたデータを分析した結果に基づき、学部ごと、入試形態別の差異、学生の変化等についての報告があり、その結果からみえてきた課題・改善案などの提案があった。

引き続き、各学部等から、それぞれの現状を踏まえた様々な意見が出され、有意義な時間となった。



### (2) 教養教育関連FD

開催日	主催	開催内容
平成29年9月5日(火)	教養教育開発実践センターFD研修会	「地域学ゼミナールの運営に向けて」
平成30年2月13日(火)	教養教育開発実践センターFD研修会	「学生と一緒に考える アクティブ・ラーニング英語教育」
平成30年3月5日(月)	教養教育開発実践センターFD研修会	「基礎ゼミナールについて」
平成30年3月13日(火)	教養教育開発実践センターFD研修会	「学部越境型地域志向科目について」



## 【2】 ルーブリック・e-ポートフォリオ

「基礎ゼミナール」及び「地域学ゼミナール」においてルーブリックやe-ポートフォリオを活用したことにより、学生が学びの過程や結果を学生自身で可視化することが可能となった。

また、キャリア教育科目ではe-ポートフォリオを活用し、学生が自らの学修過程の省察や学修成果の検証を行い、自己評価を行うことによって、主体的・能動的学修を促すこととなり、学生の自主学習の習慣化を図った。

### 地域志向人財ルーブリック

育成する人財像	基準	尺度				無関心 0
		実践・貢献 4	成熟化・省察化 3	主体化・内面化 2	初歩・入門 1	
態度系	1 グローバルマインド	異なる価値観をもつ人と積極的に関わり、共生・協働できる	異なる価値観を持つ人を尊重し、その価値観を受け入れることができる	異なる価値観を理解することができる	異なる価値観をもつ人がいることを知っている	異なる価値観をもつ人がいることを知らない
	2 地域志向 (愛着・コミットメント)	多角的な地域理解に基づき、自覚的に地域に根を下ろして活動している	地域について多角的な知識を有し、その実態を複眼的に理解している	地域の歴史や文化、経済等を自ら学んでいる	地域について初歩的なことを知っている	地域に関心がない
	3 創造を目指す意欲	既存の枠組みにとらわれず、多種多様なアイデアを出すことができる	独創性を感じさせるような質の高いアイデアを出すことができる	普段から積極的にアイデアを出そうと努力している	現状を多少改善するような簡単なアイデアを出すことができる	現状に満足し、創造を目標としない
教養系	4 文理の基礎的な教養	文理を問わず、幅広い分野の基礎知識を体系的に学修している	文理を問わず、幅広い分野に興味を持ち、学修している	幅広い分野について学修している	自分の関心に従い、幾つかの分野の学修を始めている	知識を求めない
	5 他領域の専門家との協働	自分と異なる領域の知識や技能、考え方を理解して尊重し、柔軟に協働できる	はつきりした役割分担のもとで、他領域の人と一緒に活動することができる	異なる領域の専門家と関わることができる	自らの専門領域の中では、他者と協働できる	他者と協働できない
	6 複雑な課題にアプローチする力 (課題解決能力)	自らの知識やスキルを活用し、複雑な課題を多角的に分析できる	自らの知識やスキルを活用し、複雑な課題を分析できる	教員等の支援のもとで、複雑な課題を分析できる	単純な課題を分析できる	課題をどのように分析して良いのかわからない
専門系	7 専門的な知識・技能	専門知識を体系的に理解し、その発展に貢献できる	専門知識を体系的に理解している	個々の専門知識を自分の中で有機的に関連づけて理解している	入門的な専門知識を断片的に有している	専門知識を有していない
	8 獲得した専門知識を活用して地域の課題解決を主導できる人財	体系的な専門知識を活用し、実効性のある地域課題分析と解決策提案を行える	体系的な専門知識を用いて、地域課題の分析と解決策の提案を行える	幾つかの専門知識を用いて、地域課題を分析できる	入門的な専門知識を用いて、地域課題を自分なりに解釈できる	専門知識を活用できない
	9 リーダーの役割	目標の実現に向けてチームを組織し、メンバーを動かすことができる	チームの個々人と関わることをできる	リーダーとしてやるべきことを知っている	リーダーの役割としたいイメージを持っている	リーダーの役割が全くわからない

### 【3】 地域教育プロジェクト

平成27年度より正課外の教育活動として発足した「地域教育プロジェクト」を、平成29年度も引き続き実施した。

#### 1. 弘前⇄十和田モニターバスツアー

平成29年5月28日(日)に地域教育プロジェクト「弘前⇄十和田モニターバスツアー」を開催し、学生16名が参加した。

「りんごのふるさとシャトルバス運営協議会」が運行する弘前と十和田湖を結ぶシャトルバスの学生の利用者増を目指すことを目的に、モニターバスツアーを実施した。「多くの学生が参加したくなるバスツアーを考える」という視点を持ちながら十和田湖畔を中心に散策を行い、そこで得られた学生の気付きや提案を当協議会と共有することができた。

なお、参加学生の大半は県外出身であり、十和田湖に初めて足を運んだ学生も数多くいた。このモニターバスツアーを通し、学生にとって新たな青森県の魅力の発見にもつながった。



#### 2. バックパッカーを通して見えてきた世界と青森

平成29年6月5日(月)、弘前大学総合教育棟313講義室にて、地域教育プロジェクト「バックパッカーを通して見えてきた世界と青森」を開催し、本学の学生24名、教職員6名が参加した。

平成29年2～3月の春期休暇にて、ベトナム・カンボジアを個人渡航した下川弘喜さん(人文社会科学部2年)が2カ国を旅して発見した世界の現状と、地元青森の魅力と課題、そして、見えてきた学生生活で取り組むべきものについて報告した。

海外渡航によって青森地域への愛着を強めたという下川さんの報告は、海外志向の学生に対し、青森地域の面白さを感じてもらえる良い機会にもなった。

人文社会科学部の近藤史准教授からは、海外渡航の際に本学が学生に義務づけている安全対策や、事件事故防止・感染症予防等のノウハウについて報告があり、学生の安全意識の向上を図ることができた。





文部科学省

# 地(知)の拠点